

都市再生整備計画 事後評価シート
牧田地区

平成23年3月

三重県鈴鹿市

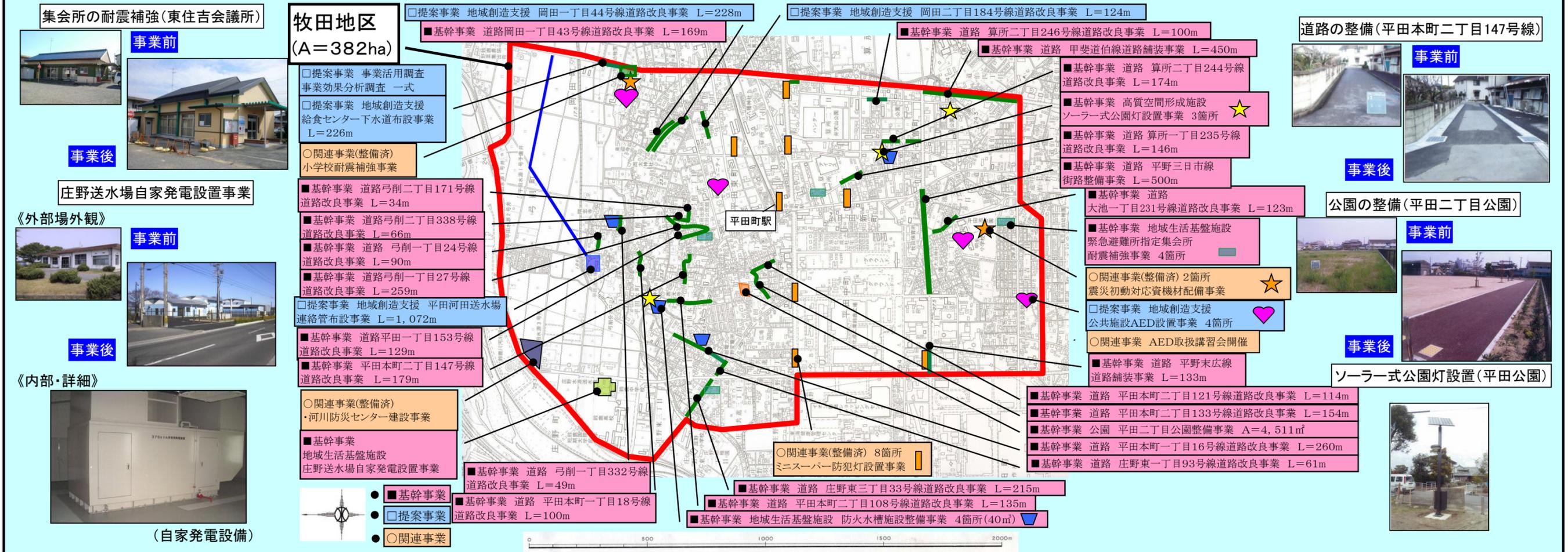
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県		市町村名	鈴鹿市		地区名	牧田地区		面積	382 ha	
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	832百万円	国費率	0.405		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(平野三日市線、岡田一丁目43号線、平田一丁目153号線、弓削一丁目27号線、平田本町二丁目121号線、算所二丁目244号線、大池一丁目231号線)、公園(平田二丁目公園)、地域生活基盤施設(防火水槽施設整備事業、庄野送水場自家発電設置事業、緊急避難所指定集会所耐震補強事業)、高質空間形成施設(ソーラー式公園灯設置事業)							
			提案事業	地域創造支援事業(道路改良事業(岡田二丁目184号線)、公共施設AED設置事業、平田河田送水場連絡管布設事業)							
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	地域創造支援事業(道路改良事業(算所一丁目241号線))		・下水道事業の進捗が予定より遅れ、下水道事業完了後に予定していた当該事業について、実施が困難となったため、事業を取りやめる。		・「道路事情満足度」に関係するが、数値目標は据え置く			
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(算所一丁目235号線、算所二丁目246号線、平田本町一丁目16号線、平野末広線、甲斐道伯線、庄野東一丁目93号線、庄野東三丁目33号線、平田本町二丁目147号線、弓削二丁目338号線、弓削二丁目171号線、平田本町二丁目108号線、平田本町一丁目18号線、平田二丁目133号線、弓削一丁目24号線、弓削一丁目332号線)		・道路改良について地元より要望があり、住民総意として新たに事業を追加する必要が生じたため。 ・目標達成(道路事情満足度)により効果的であるため追加。 ・鈴鹿中央線北の地域付近一帯は密集市街地であり、緊急避難路となる生活道路の拡幅整備を早急に進める必要がある。		・「道路事情満足度」に関係するが、数値目標は据え置く			
提案事業			地域創造支援事業(道路改良事業(岡田一丁目44号線)、給食センター下水道布設事業)、事業活用調査(事業効果分析調査)		・鈴鹿中央線北の地域付近一帯は密集市街地であり、狭隘な道路が多いため、緊急避難路となる生活道路の拡幅整備を早急に進める必要がある。また、当該道路の改良については地元より要望もあり、住民総意として新たに事業を追加。 ・目標達成(市民の安心安全度)により効果的であるため追加。 ・事業実施による効果を多角的に分析し、今後のまちづくりのフォローアップにつなげるため追加。		・「道路事情満足度」に関係するが、数値目標は据え置く ・「住民の安心安全度」に関係するが、数値目標は据え置く ・事業期間、事業費の変更のみの事業は影響はない				
交付期間の変更		当初変更	平成18年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		・期間の変更に伴い道路事業を追加したため、「道路事情満足度」、「市民の安心安全度」に関係するが、数値目標は据え置く。*					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	道路事情満足度	29.6	30.0	モニタリング	評価値	○	あり	都市の骨格となる道路整備事業などにより、交通利便性や安全性が向上し、道路事情満足度の改善につながったと思われる。	平成24年4月	
指標2	市民の安心安全度	41.4	45.0	モニタリング	43.0	△	あり	平田二丁目公園の整備による緊急避難地の確保をはじめ、緊急避難所の耐震補強やソーラー公園灯の設置、防火水槽の設置などの防災対策や、道路整備を推進してきたが、目標達成には至らなかった。しかし、事業による改善傾向はみられるため、一定の効果は発現していると考えられる。また、鈴鹿市全体を対象としたアンケート調査であったため、効果の発現が弱くなったと考えられる。	平成24年4月		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	牧田地区住民の道路事情満足度	3.00	3.91	モニタリング	3.91			地域住民が生活する上で利用頻度が高い道路などを整備したことにより、円滑な交通ネットワークが形成され、利便性や快適性が向上したことが高評価につながったと思われる。	平成24年6月	
その他の数値指標2	牧田地区住民の安心・安全度	3.00	4.08	モニタリング	4.08			平田二丁目公園の整備により、地域住民の身近な緊急避難地が確保され、居住環境の安全性が向上したことが、高評価につながったと思われる。さらに、地域防災計画で緊急避難所として指定されている集会所の耐震補強工事を行うことにより、緊急避難所としての機能が高まり、地域住民の安心感につながったと思われる。	平成24年6月		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの自由意見をを通して、道路整備や公園のソーラー灯設置で安心感が高まったとの意見が確認できた。 小学校職員を対象として、AEDの講習を実施するようになった。 耐震補強工事を行った公民館において、利用者から安心して利用できるようになったとの意見があり、老人会・PTA・子供会等の利用が促進された。 										
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
持続的なまちづくり体制の構築		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

牧田地区(三重県鈴鹿市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:安全と利便性を備え、安心して暮らせるまちづくり ○人家密集地区内の道路を新設・改良することにより、防災・生活環境の向上及び交通の円滑化を図る。 ○様々な災害に備えて、災害予防対策の充実及び災害時における対応力の強化を図り、安全で安心できる市民生活を確保する。	道路事情満足度	単位:%	29.6	H15	30.0	H22	32.5	H22
	市民の安心安全度	単位:%	41.4	H16	45.0	H22	43.0	H22
	牧田地区住民の道路事情満足度	単位:5段階評価	3.00	H17			3.91	H22
	牧田地区住民の安心・安全度	単位:5段階評価	3.00	H17			4.08	H22



まちの課題の変化

- ・人家密集地区において、緊急避難地となる平田二丁目公園が整備され、安全で安心して暮らせる居住環境が形成された。また、地域防災計画で緊急避難所として指定されている集会所の耐震補強工事や生活道路の整備等により、居住環境の快適性、安全性が向上した。
- ・平成22年度末に開通予定である平野三日月線の整備により、鈴鹿中央線の交通渋滞が緩和されることが期待される。
- ・耐震性防火水槽の整備や公共施設へのAED設置等により、防災施設の整備が進んだ。
- ・関連事業により防犯灯が整備され、地域の安全性が向上した。また、自主防犯パトロール活動を実施団体に委嘱し、地域安全活動の推進に寄与した。
- ・耐震性防火水槽が未整備な地域が残っている点が課題である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 居住環境の利便性・快適性、安全性の維持向上(住民要望を踏まえた生活道路整備、道路の維持管理、公園施設長寿命化計画策定、平田送水場の改築)
- ・地域の実情に合った道路整備を地域住民の意向を踏まえながら実施していく。
- ・整備した道路の維持管理を行っていく。
- ・公園施設の安全性向上を推進する。
- ・安心・安全な給水環境を確保する。
- 地域の災害対応力のさらなる向上(耐震性防火水槽の整備、防災無線のデジタル化整備)
- ・必要な防災施設の整備を推進する。